

平成20年度三重県支部非常通信訓練の報告

(Rev1)

去る9月7日(日)に伊勢市のサンアリーナで実施された「三重県総合防災訓練」では三重県支部も大いに活躍の場が与えられ、多くの県内アマチュア局がご参加頂いた。当日の運用体制は、JARL三重県支部・地元ハムクラブ(二見防災アマチュア無線・伊勢パーククラブ)・支部登録クラブ・県内防災アマチュア無線連絡会がお互いに連携を取り合いながらの訓練となった。

JARL三重の受信周波数としては430MHz帯を使用し、訓練会場本部席横での運用となった。9時00分～10時00分の交信では、県内各地の50局程とQSOを完了し、また10時15分には、他の連携組織とも情報交換などを行い、また地元クラブにより会場では他の訓練会場との情報伝達なども担当した。(伊勢大湊でのヘリによる孤立救援訓練)また実施風景などの中継も行われた。

連携組織を含めた当日QSO参加局は100局弱になった。この参加局数は他県に劣らない高い数値です。いずれの組織もそれぞれの団体の特徴を生かし、必要な任務を遂行して頂いた。今後を見据えた支部と他の防災無線団体との連携も見えた新しい形の訓練となった。



電波を共有するアマチュア無線家である我々は、いざという時には全ての組織と連携をとり、情報交換することが防災ハムとして大切な要素であると思います。これからも会員資格にとらわれず、開かれた形での活動を展開して行く事が不可欠です。日ごろのローカル局間の交信に留まらず、多くの県内局とのQSOがお互いに相手を理解しあう近道です。またそのことが災害時には信頼性の高い情報伝達にも繋がります。今後ともこの想いを大切に協力体制を築かなければならないと思います。

当日、ご協力頂いた方々、現地で直接ご参加頂いた方々、どうもありがとうございました。今後とも宜しく願いしてお礼とさせていただきます。TNX TU !

JARL三重県支部防災ワーキンググループ
防災訓練連絡世話担当 JF2AGB

